

鳥取大学サイエンスアカデミー

シリーズ

『木を見て森も見る』

vol.
478

ー鳥取県の74%を占める森林。林業をはじめ、スポーツやいこいの場、水源、治山炭酸ガス吸収などその役割は多様です。
鳥取大学は蒜山の森・三朝の森・伯耆の森・湖山の森の4つの森林教育研究林を保有し、木や森林に関する特色ある教育・研究を行い、地域の森林資源の保全や活用に寄与しています。

★今回のテーマ★

森林に水源としての役割を

期待してよいのでしょうか？

～押さえておきたい森と水の基礎知識～

日時：11月9日（土） 10：30～12：00

会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室

講師：農学部生命環境農学科

生命環境農学講座 芳賀 弘和 准教授

ライブ中継先 米子市、倉吉市、琴浦町、新温泉町の各図書館

★次回予告(11/23)★

講師：

①地域価値創造研究教育機構 地域連携URA 特命助教 堤 晴彩

②農学部 生命環境農学科 植物菌類生産科学コース 3年 牧 尚澄

タイトル：

①：「木材に秘める魅力と可能性」

②：「大学生からみた林業のいまー林業合宿を終えてー」

【問合せ先】

鳥取大学 地域価値創造研究教育機構（企画管理室）

住所/ 〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

T E L / 0857-31-6777

F A X / 0857-31-6708

E-Mail / koken@ml.adm.tottori-u.ac.jp



15 陸の豊かさも
守ろう



鳥取大学はSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けてさまざまな取り組みを行っています